

## ロシアにおける合法性証明木材調達の展望

国際環境NGO FoE Japan  
 佐々木勝教

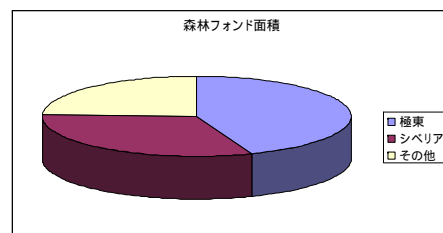


## ロシア調査について

- **期間**: 2006年度から違法伐採対策推進協議会の合法性・持続可能性証明木材供給事例調査事業として開始。現在は、林野庁合法木材信頼性向上支援事業の輸入材の調査として中露間調査を実施中。
- **対象地域**: ロシア極東全域、沿海地方、ハバロフスク地方、イルクーツク州
- **目的**: 輸入材のサプライチェーンを書類ベースで追跡調査(日中露間、2010年度)



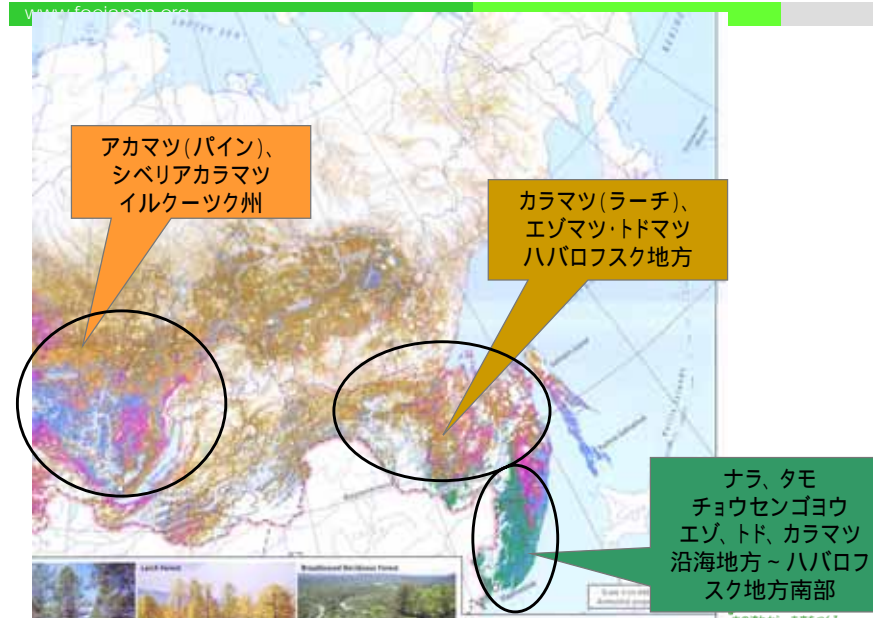
## ロシアの森林



出所: ロシア連邦森林局2006を基に作成

森林ファンド: 11億3千万haのうち、極東とシベリアにその76%にあたる8億5千万haがあり、このうち56億90万haが伐採リースに割り当てられている。

森林蓄積でみると、768億 $m^3$ の68%にあたる522億 $m^3$ が極東とシベリアにあり、48億5千万 $m^3$ が伐採可能蓄積。両地域合わせた年間許容伐採量は、6318万 $m^3$ に及ぶ。



出典: Space Research Institute of Russian Academy of Sciences, Global Forest Watch, Greenpeace Russia



www.foejapan.org

## 樹種と住宅部位

部位	主な樹種	原木の主な伐採地	製品の主な製造地
構造用集成材(梁桁など横架材)のラミナ	アカマツ	イルクーツク州	イルクーツク州、ハバロフスク地方
羽柄材(垂木、間柱、胴縁、野縁など)	アカマツ	イルクーツク州	イルクーツク州、ハバロフスク地方、富山県
針葉樹構造用合板	ラーチ(カラマツ)	ハバロフスク、イルクーツク州	宮城、秋田、岩手、石川、京都、大阪、鳥取、島根、熊本
シナ合板	シナノキ	沿海地方	北海道、中国
ランバーコア合板	シラカバ、ボブラ(ヨーロッパヤマナラシ)	沿海地方、ハバロフスク地方、イルクーツク州	中国(内蒙古自治区、黒龍江省、遼寧省)
バイン・フローリング	アカマツ	イルクーツク州	中国(遼寧省、内蒙古自治区、黒龍江省)
ナラ(オーク)・フローリング	モンゴリナラ	沿海地方	中国(遼寧省、黒龍江省、江蘇省、浙江省)
階段踏板、手摺、カウンター用の集成材	タモ、ナラ、ニレ	沿海地方	中国(遼寧省、黒龍江省)
家具	タモ、ナラ、ニレ	沿海地方	北海道、静岡、宮崎、中国(遼寧省、黒龍江省)
家具	バイン(アカマツ)	イルクーツク州	中国(遼寧省、内蒙古自治区、黒龍江省)



写真:EL社の製品。29種類の製品を臨機応変に生産できる。(日本向けも既にある)



## 日本とロシア

	2004	2009
丸太(m <sup>3</sup> )	5,883,594	693,084
うち針葉樹	5,672,182	665,680
製材(m <sup>3</sup> )	1,001,870	729,566
うち針葉樹	989,824	726,272
単板(m <sup>2</sup> )	0	30,396,089

出所:財務省通関統計

影響要因:

- 2000年以降中国の木材需要が急増
- 2006年丸太輸出関税の段階的引き上げ
- 2007年日本の建築基準法改正
- 2008年リーマンショック

## 林産業の現状

### 【優先投資プロジェクトと木材加工業の振興】

地方・州政府により策定され、連邦産業商務省により承認され、オークションなしでの伐採リースの割り当てがある

ハバロフスク地方- 5プロジェクト

(製材、単板、MDF、PB、化学パルプ、チップ)

イルクーツク州- 4プロジェクト

(製材、針葉樹合板、バイオ燃料、チップ)

## 林政の現状

(2004 ~ 2010)

- 04.地方主体の林政の開始  
(森林局が地方政府下へ、営林署解体、人員削減)
- 07.新森林法典  
(森林計画、森林開発計画、伐採申請書)  
— 国家による森林管理が不安定に。違法伐採多発 —
- 10.森林局の所属変更(体制の強化)
- 10.丸太輸出関税引き上げ延期(なくなる可能性も)  
\* 10.チョウセンゴヨウ禁伐種に再指定



## 違法伐採の現状

連邦森林局の公表では、伐採量の10～15%  
(約2000万m<sup>3</sup>)が違法伐採。

中国市場と関連した違法木材流通の増加

- イルクーツク州 FSBと関税局のオペレーションにより大規模な密輸グループ摘発。152名の違法滞在中国人逮捕。(2010.11.22) \*50名逮捕(同年12月)
- 沿海地方 沿海地方森林局長の更迭(2010.6.18)  
違法伐採と関連した汚職が表面化

国家森林管理の不十分さと関係した違法伐採  
地方レベルの取り組みによる摘発開始



13



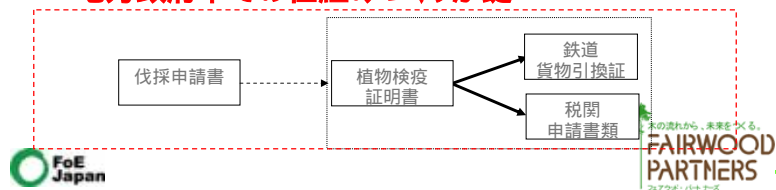
## 合法性証明木材

現状では、信頼性のある合法性証明の仕組みがない。

期待される証明方法:

- 1). 伐採申請書と植物検疫を連結
- 2). 森林認証を使ったモデル

地方政府下での仕組みづくりが鍵



15

## 森林認証

- FSC認証が最もポピュラー。PEFCと相互認証している国内のシステムFCRもあるが、現時点での認証は一ヶ所のみ。
- FSC認証林は、2415万ha、CoC認証企業は、159社の上(2010.12.31)  
現時点で最も確実な方法であり、十分な木材供給力もある。  
(極東、シベリアで約1000万ha)



16





写真(上):B社のFSC認証林

写真(下):K社の伐採地(認証林)地図



木材の生産地 = 希少動物、  
植物、先住民族の居住地



図・野生アムールトラ生息地  
出所:miduelle et al (2007)



図・伐採リース  
出所:FoE (2006)



## 今後の展望

地域別で樹種、現地の状況を把握

- 十分な供給力のある森林認証材を利用
- 優先投資プロジェクトを軸に発展が期待される加工材を利用

地方・州政府が中心となった合法性証明  
木材供給の安定化に期待

ご静聴ありがとうございました。

www.fairwood.jp  
info@fairwood.jp  
03-6907-7217